

2026 年度 第 2 回 日本臨床検査医学会理事会（理事総会）議事録

日時：2026 年 7 月 25 日（土）14：30～17：30

開催方法：Zoom ミーティング（常任理事と監事は現地）

議事録署名人：出席した理事長、副理事長、監事

出席（事務所）：柳原克紀理事長、松下弘道副理事長、森兼啓太総務理事、蔵野信会計理事
山田俊幸、大西宏明 各監事（以上 6 名）

出席（Web）：木村孝穂、増田亜希子、松下一之、井上克枝、長尾美紀、堀田多恵子 各理事
赤坂和美、高橋伸一郎、中山智祥、神田晃、末廣寛、手嶋泰之 各支部理事（以上 12 名）

陪席（Web）：東海・北陸支部 支部長：中山享之

関連団体報告者：山田俊幸（日本臨床検査専門医会理事長）、植田成（日本臨床検査標準協議会事務局
長）、増田亜希子（日本医療検査科学会監事）、村上正巳（日本臨床検査振興協議会理事長）

〆谷直人（日本臨床検査同学院副理事長）（以上 6 名）

欠席：金子誠、上原剛 各理事（以上 2 名）

黙祷：冒頭、2026 年 6 月 5 日に逝去された名誉会員の佐守友博先生（78 歳）を悼み黙祷が捧げられた。

I 開会、理事長挨拶（柳原克紀 理事長）

冒頭、挨拶があり、過半数の理事が出席していること、議事録署名人を確認し開催要件を満たしていることが告げられ理事会（理事総会）を開始した。

II 報告事項

1. 関連団体報告（柳原克紀 理事長）

1) 日本臨床検査専門医会報告（山田俊幸 日本臨床検査専門医会 理事長）

2026 年度（2026/4/1～2027/3/31）年間行事予定の理事会、総会、臨時社員総会、講演会、5 月 23～24 日千葉で開催された第 5 回年次大会、7 月臨床検査振興セミナー、11 月全国検査と健康展について報告された。

2) 日本臨床検査標準協議会（植田成 日本臨床検査標準協議会 事務局長）

2026 年、2027 年の活動計画、令和 8 年度の重点項目の、臨床検査の国内外標準化の推進、行政等との連携強化、精度保証と標準物質、組織基盤の整備をしていること、主な委員会活動、令和 8 年度 JCCLS シンポジウム「微生物学的検査の標準化の動向」（2026/9/11 開催）を予定していること、次世代バイオマーカー検査や生体試料を用いる検査の標準化（新規申請中）、および薬剤耐性菌（AMR）関連検査の標準化活動を継続して実施することが報告された。

3) 日本医療検査科学会（増田亜希子 日本医療検査科学会 監事）

各種会議予定（理事会、委員会、社員総会、総会）、終了した第 40 回春季セミナー（5/10、九州、堀田多恵子例会長）、第 58 回大会（10/8～10/10、神戸、清宮正徳大会長）と第 59 回大会（2027/10/7-10/9、横浜、増田亜希子大会長）の開催予定、各種委員会活動、医療検査と自動化（日本医療検査科学会誌 51 巻 1-5 号）、補冊発行予定等が報告された。

4) 日本臨床検査振興協議会（村上正巳 臨床検査振興協議会 理事長）

2022 年 4 月の一般社団法人化後、2026 年 3 月末で一般社団法人として 4 年の活動を完了した。

2026 年 6 月 24 日に開催された 2026 年度定時社員総会及び 2026 年度第 1 回理事会で 2025 年度理事・監事の選定ならびに理事長・副理事長の選定を行い理事長は村上正巳先生が重任すること、従来の委員会体制を維持し活動推進することと、主な活動目標等が報告された。

5) 日本臨床検査同学院（〆谷直人 日本臨床検査同学院 副理事長）

2026 年度の一級臨床検査士資格認定試験、二級・緊急臨床検査士資格認定試験、遺伝子分析科学認定士資格認定試験、POCT 測定認定士資格認定試験、第 42 回「緒方富雄賞」の推薦受付、授賞式、記念講演会のスケジュールについて、第 73 回日本臨床検査医学会学術集会で共催シンポジウムとして「AI 時代を乗り切る人材育成」第 2 段企画を予定していることが報告された。

また、各種資格認定試験については、試験委員や会場の確保が困難なため、当学会に協力要請があった。

ここで関連団体代表の先生方にはご退室いただいた。

2. 支部報告

各支部報告の 2026～2027 年度の支部例会・総会の開催報告と予定、支部所属の人事変更等について報告された。

3. 各種委員会報告

1) 教育委員会（森兼啓太総務理事）

第 73 回学術集会で、委員会企画として RCPC 及び Catch Up セミナーを予定していることが報告された。

1) 保険診療委員会（森兼啓太 担当理事、松下一之 委員長）

令和 10 年（2028 年）診療報酬改訂に向けて 2026 年 7 月 3 日、アンケート（基収載、未収載、LDT、加算など）を各委員に共有しており、今後本格的な選定に入る予定であること、日本医師会疑義解釈委員会より、体外診断薬、機器供給停止予定の検討依頼に対応していること、新規保険収載項目の情報を監修し、会員メール、日本臨床検査医学会誌、ホームページを通じて会員に提供していることが報告された。

2) 学術推進化委員会（井上克枝 担当理事）

2026 年度学術推進プロジェクト研究採択課題について、フローサイトメトリー副産物データを利用したリアルタイム菌血症診断のため広汎化 AI の構築」（代表者：藤岡優樹；秋田大）、「骨髓異形成症候群の好中球のプロテオーム異常に基づく新規分子診断マーカーの探索」（代表者：加藤庸介；杏林大）、「RAD51 機能的 HRD 評価と遺伝子・メチル化解析を統合した HRD 検査法の開発」（代表者：菊地茉莉（杏林大）の 3 件が決定し、研究期間は 2026/8/1～2028/7/31、2027 年 8 月に中間報告、2028 年の第 75 回学術集会で最終報告いただく予定であることが報告された。

3) 広報委員会（森兼啓太 総務理事）

2026 年 7 月 5 日、民間医局レジナビフェア 2026 大阪へ広報委員会専門医リクルート WG2 名で参加し 16 名が来訪したこと、本費用は約 50 万円であったこと、10 月 8～10 日神戸国際会議場での JACLaS EXPO2026 に広報ブースを出展予定であること、学生・研修医への臨床検査医学の魅力発信と、臨床検査専門医のリクルート推進を図ることを目的として、第 73 回学術集会（12 月 18 日）、日本専門医機構認定臨床検査専門医研修プログラム認定委員会と合同企画シンポジウム「学生・研修医に臨床検査医学をどう届けるか・教育と広報の課題とこれから」を計画していることが報告された。

4) 遺伝子委員会（蔵野信 担当理事、松下一之 委員長）

令和 7 年度厚生労働科学特別研究事業「LDT の臨床実装に向けた研究」班会議の取りまとめ案、全ゲノムワーキンググループについてメール審議したこと、第 73 回学術集会での日本病理学会共催セミナー「LDT の医療実装に向けて」（仮）へ協力していることが報告された。

5) 編集委員会（蔵野信 担当理事）

2025 年度に日本臨床検査医学会誌に発表した論文から、学会賞：優秀論文賞受賞候補者を選出のため審査中であることが報告された。

4. 第 73 回学術集会報告（千葉 2026/12/17(木)～12/20(日)、吉田博 会長）（森兼啓太 総務理事）

2026 年 12 月 17 日（木）～20 日（日）、千葉県幕張メッセにおいて、吉田博会長（慈恵医大）のもと、テーマ：プラネタリーヘルスへと進む新時代の医療～プラットフォームを担う臨床検査医学～として、現地および Web オンデマンドでの開催予定であり、越智小枝副大会長、政木隆博事務局長、運営事務局は（株）サンプルネットメディカルコンベンションが担当する。シンポジウム、委員会企画、POC セミナー、Catch up セミナー、RCPC、特別講演、教育講演、会長講演、医学会連合加盟学会連携フォーラム、ICD 講習会、共催セミナー（ランチョンセミナー、コーヒープレイクセミナー）を予定しており、現時点のプログラム予定が提示された。一般演題（口演・ポスター）は 2026 年 5 月～7 月 28 日に登録中であり、企業共催セミナーについては、空きがあるため紹介依頼がなされた。

5. 第 74 回学術集会報告（宇都宮 2027/11/11(木)～11/13(土)、森兼啓太 会長）（森兼啓太 会長）

2027 年 11 月 11 日（木）～13 日（土）3 日間の予定で、ライブキューブ宇都宮において、森兼啓太会長（山形大）のもと、開催予定であり運営事務局は（株）サンプルネットメディカルコンベンションが担当するが、具体的なプログラムはこれから検討予定であることが報告された。

6. 第 75 回学術集会報告（札幌 2028/9/7(木)～9/9(土)、高橋聡 会長）（森兼啓太 総務理事）

2028/9/7(木)～9/9(土)3 日間の予定で、京王プラザホテル札幌において、高橋聡会長（札幌医大）のもと、テーマ「百折不撓」として開催予定であり、運営事務局は（株）コンベンションリンケージが担当することが報告された。

7. 第 13 回特別例会報告（大阪 2027/4/2(土)、三枝淳 会長）（森兼啓太 総務理事）

2027 年 4 月 24 日（土）、梅田スカイビルにおいて、三枝淳特別例会長（事務局：山崎正晴）のもと、第 32 回日本医学会総会 2027 関西分科会であり、テーマ：「Lab to Life: 臨床検査が拓く未来の医療」として開催予定であり、特別講演、シンポジウム 1、シンポジウム 2、ランチョンセミナー、特別例会長講演を予定していることが報告された。

8. 本学会からの関連団体派遣委員について（更新）（森兼啓太 総務理事）

2025 年 3 月 29 日（土）以降に推薦した関連学会、団体への派遣委員が報告された。

9. 認定試験について（柳原克紀 理事長）

1) 第 6 回日本専門医機構認定臨床検査専門医認定試験（東京 2026/8/9(日)、越智小枝 試験実行委員長）

8 月 9 日（日）、東京慈恵会医科大学にて実施予定であり、20 名（内 4 名再受験）が受験予定であることが報告された。

2) 第 18 回臨床検査管理医講習・認定試験（東京 2026/9/6(日)、金子誠 試験実行委員長）

2026 年 9 月 6 日（日）に、三井記念病院にて実施予定であり 16 名が受験予定であることが報告された。

10. 特定機能病院における「臨床検査科」設置についての文書送付について（柳原克紀 理事長）

医療法施行規則の改訂に伴い、同規則第 6 条の 4 第 1 項の規定に特定機能病院が有すべき診療科として「臨床検査を行う診療科」を追加する旨の通知が 4 月に厚生労働省より発出されたのを受けて、7 月 7 日付で特定機能病院 88 施設病院長宛てに、「臨床検査科設置」の要望書を郵送したことが報告された。

11. 厚労科研「患者向けの情報共有のための検査単位の統一に向けた研究」に係るヒアリング調査について（柳原克紀 理事長、堀田多恵子 理事）

5 月中旬～8 月の期間で、厚生労働科学特別研究事業「患者向けの情報共有のための検査単位の統一に向けた研究（26CA2008）」に係るヒアリング調査への協力依頼が、研究代表者の医療データ活用基盤整備機構代表理事の岡田美保子先生、研究分担者の東京医療保健大学総合研究所/日本臨床衛生検査技師会の板橋匠美様よりあり、理事長、常任理事、標準化委員会、検査項目コード委員会で対応しており、これまで 4 回、団体ヒアリングを実施していることが報告された。

12. 第 32 回日本医学会総会奨励賞候補者推薦について（柳原克紀 理事長）

第 32 回日本医学会総会奨励賞候補者の推薦依頼があり、学会賞委員会と学術推進化委員会に推薦依頼をし、学会賞委員会より推薦あった、グラム陰性菌の薬剤耐性解析、細菌や抗酸菌の質量分析同定の改良などを研究テーマとしている武井理美先生（順天堂大学助教、臨床検査技師）を推薦したことが報告された。

13. 自由民主党 臨床検査に関する制度推進議員連盟議員総会について（柳原克紀 理事長）

当会弁護士顧問であり、自民党・参議院議員の古川俊治先生が会長を務める「臨床検査に関する制度推進議員連盟」総会で、学会理事長の考える「日本の臨床検査制度の課題」について講演依頼があり、7 月 9 日（木）に、自民党本部で「日本の臨床検査制度の課題と改革への提言—国家医療基盤としての臨床検査—」というタイトルで講演を行なったことが報告された。

14. その他

理事会への報告について（柳原克紀 理事長）

支部報告については、理事会毎に提出いただくこと、委員会報告については、各委員会の担当理事から各委員長に提出依頼して担当理事から提出いただくことが依頼された。

Ⅲ 審議事項

1. 2026・2027 年度各種委員会委員名簿について（柳原克紀 理事長）

2026 年 3 月 28 日の第 1 回理事会で決定していなかった委員会委員あるいはアドバイザー、変更、追加が提示された。また、委員会から外部委員、オブザーバーという役名で推薦された場合、細則によりアドバイザーで統一すると周知され、審議のうえ承認された。

2. 2026 年度学会賞受賞候補者について（柳原克紀 理事長、井上克枝 学会賞委員会担当理事）

学術賞 4 名、検査・技術賞 4 名、若手研究者奨励賞 8 名の応募があり、各委員に事前審査し、その集計結果をもとに、7 月 22 日に学会賞委員会を開催し協議のうえ各受賞候補者を決定した候補者が理由を添えて推薦され、審議のうえ承認された。

3. 2026 年度国際学会奨励賞受賞候補者について（柳原克紀 理事長、井上克枝 国際委員会担当理事）

国際学会奨励賞の応募者が 8 名あり、国際委員会委員が審査し、それを集計した結果、高評価となった 3 名が受賞候補者として推薦され、審議のうえ承認された。

4. 東海・北陸支部、九州支部 支部長（支部理事）について（柳原克紀 理事長）

2026 年 1 月に九州支部から評議員ではない正会員が支部理事として推薦されたが、評議員の方を推薦いただくよう依頼した。しかし、細則により正会員でも支部長にはなれると判断がなされ、九州支部支部長は正会員の小川正浩先生となり、支部理事は評議員である手嶋泰之先生が推薦され、社員総会でも承認されていた。

3月28日の定時社員総会で東海・北陸支部支部理事として承認されていた中山享之先生が、5月中旬、評議員ではないことが役員登記時に判明した。本件について、前理事長、現理事長、司法書士、事務局が対応を検討した。別に評議員を支部理事とするとしても、理事会、社員総会での承認が必要であり、かなりの負担となるという理由から、2026年度の東海・北陸支部の支部理事は置かず、正会員も支部長にはなることができるという判断により、中山享之支部長に、理事会へ陪席いただくという対応とするのがよいのではないかととなった。また、役員名簿の東海・北陸支部支部理事は選考中とすることとする。九州支部、東海・北陸支部の支部長のこのお二人は、2027年1月1日より評議員に就任可能であるということにより、3月の定時社員総会で支部理事として承認されれば、この状態は、解消する予定であると説明があった。以上について、審議のうえ承認された。

5. 定款の一部改定（第1章 総則（事業）第4条（3））について（森兼啓太 総務理事）

定款の一部改定（第1章 総則（事業）第4条（3））には、「学会認定臨床検査専門医、名誉臨床検査専門医、臨床検査管理医の資格認定」と規定されているが、専門医は機構と学会認定があるため、正式名称を記載、また遺伝子関連検査精度管理医認定制度が開始されたため追記が必要との説明があり、「日本専門医機構認定臨床検査専門医、日本臨床検査医学会臨床検査専門医、名誉臨床検査専門医、臨床検査管理医、遺伝子関連検査精度管理医の資格認定」と改定する提案があり、承認された。

6. 細則の一部改定（学術集会企画委員会細則）について（森兼啓太 総務理事）

学術集会企画委員会細則は「学術集会企画委員会の委員は、常任理事および次期学術集会会長が務める。」と規定されているが、次期のほか、次々期の学術集会会長も存在するので、次々期を追記して、「学術集会企画委員会の委員は、常任理事および次期・次々期学術集会会長が務める」とする提案があり承認された。

7. 近畿支部規約の一部改定について（森兼啓太 総務理事、神田晃 近畿支部 支部理事）

近畿支部より、支部口座の開設のため、銀行からの指摘により改定が必要となったと説明があり、改定の箇所を確認し、審議のうえ承認された。

8. 利益相反委員会からの審議事項（柳原克紀 理事長、松下一之 利益相反委員会 担当理事）

①学会自体の組織 COI 開示案と関連する COI 指針および細則の改定についてで、それに基づきまとめた資料が学会事務局、学術集会からあり本件はホームページへの掲載を進めること、学会自体の組織 COI 開示の実地の裏付けとなる学会の COI 指針および細則の改定案について承認された。

②役員などの COI 自己申告書に関する学会の COI 指針および細則の改定について、改定案が提案された。学会の役員による COI の自己申告と、所属機関の COI に関する記載義務について議論が行われた。所属機関の COI は、自身の研究に所属機関の長が共同研究者として参画しており、その研究に関連する企業等から所属機関が一定額以上の資金や役職などの提供を受けている場合に記載すべきであることで合意され、そのように修正いただくこととなった。

③学会英文誌 LMI 投稿規程の COI 開示方法について、改定案が提案された。LMI の投稿規程についてはコンサルティング会社より編集委員会へ、透明性の観点からすべての COI を申告することを義務付けるべきという提案があったことについて検討し、すべての COI 開示を論文の受理の時点までに行う方向で承認された。

9. 日本臨床検査医学会誌に関して（柳原克紀 理事長、森兼啓太 総務理事、蔵野信 会計理事）

当学会の会計収支が、ここ数年赤字が続くようになっており、一番経費がかかり負担となっているのは出版事業のため、対策について協議したいと提案があり、意見交換を行い継続審議することとなった。

10. その他

森兼啓太総務理事より、2026年度、2027年度の理事会、社員総会の予定が報告された。

【2026 年度会議日程】

第 3 回理事会：11 月 7 日（土）14：30～17：30（Zoom）

2026 年度 臨時社員総会：12 月 17 日（木）16：30～18：00（幕張メッセ）

【2027 年度会議日程】

第 1 回理事会：3 月 13 日（土）15：00～17：30（Zoom）

2026 年度に係わる定時社員総会：3 月 27 日（土）14：00～15：00（Zoom）

IV 閉会

松下弘道 副理事長より閉会にあたり挨拶があり本理事会は閉会された。

以上

2026 年 7 月 29 日

一般社団法人日本臨床検査医学会 理事会

理 事 長 柳 原 克 紀 印

副理事長 松 下 弘 道 印

監 事 山 田 俊 幸 印

監 事 大 西 宏 明 印